

シンポジウム

技能実習生の妊娠・出産ケースから 制度廃止後の新制度のあり方を考える

本シンポジウムは、2022年11月に設置された「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」が本秋にも最終報告書を提出するタイミングに合わせて、最終報告書の議論状況を確認したうえ、特に著しく困難な状況に置かれやすい技能実習生の妊娠・出産ケースを通じて技能実習制度廃止後の新制度を真に外国人労働者の権利保護に資する制度にするための議論を行うものです。
是非ふるってご参加ください。

日時 **2023年10月18日（水）18：30-20：30**

場所 **Zoomウェビナー※**

※**報道関係者のみ**弁護士会館14階1401会議室で御出席いただけます。

プログラム（予定）

【報告】

◆有識者会議最終報告書の内容と各論点について
高井信也 弁護士
(人権擁護委員会外国人労働者受入れ問題PT座長)

◆元技能実習生の双子死産に関する
最高裁無罪判決事件から新制度を考える
石黒大貴 弁護士
(同事件弁護人・労働者受入れ問題PT委員)

【講演】

◆新制度のあり方を検討する際に求められる
「移民政策」の視点
高谷幸氏
(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)

**参加費無料
事前申込制**

【申込方法】

【10月13日(金)】までに
以下のURL又は二次元バーコードから
お申し込みください。

<https://form.gooker.jp/Q/autaja/ginousinseism/1018kangae/>



※御参加のお申込みにより御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理いたします。

お問合せ：日本弁護士連合会人権第一課 TEL 03-3580-9984

JBA 日本弁護士連合会